

令和6年7月16日
午後6時30分～

令和6年度第1回世田谷区認知症施策評価委員会 次第

1 開 会

2 挨拶

3 議 題

- (1) 第2期世田谷区認知症とともに生きる希望計画に基づく令和6年度の取組みについて
- (2) 各委員による事例紹介及び意見交換について

4 今後のスケジュール

令和6年9月 世田谷区認知症施策評価委員会委員の改選について
次期の任期は、令和6年10月1日～令和8年9月30日(2年間)

10月～11月 第2回世田谷区認知症施策評価委員会
令和6年度セーフティネットについて検討する部会
令和6年度認知症初期集中支援チーム検討委員会 } 同時開催

5 開 会

配付資料

- 資料1 世田谷区認知症施策評価委員会 委員・パートナー名簿
- 資料2 第2期世田谷区認知症とともに生きる希望計画に基づく令和6年度の取組みについて
- 資料3 各委員による事例紹介及び意見交換について

世田谷区認知症施策評価委員会名簿
 (令和4年10月1日～令和6年9月30日)

	区分	氏名	職(所属)等
1	本人	澤田 佐紀子	認知症体験者、元美術講師
2	本人	貫田 直義	認知症体験者、テレビ東京アメリカ元社長、 元テレビ東京プロデューサー
3	学経	大熊 由紀子	国際医療福祉大学大学院教授
4	学経	村中 峯子	神奈川工科大学健康医療科学部看護学科 特命教授
5	学経	田中 富美子	弁護士、世田谷区社会福祉協議会成年後見センター 事例検討委員会副委員長
6	学経	永田 久美子	認知症介護研究・研修東京センター副センター長 (研究部部长)
7	学経	西田 淳志	(公財) 東京都医学総合研究所社会健康医学研究センター長
8	専門医	新里 和弘	都立松沢病院認知症疾患医療センター認知症専門医
9	専門医	長谷川 幹	世田谷公園前クリニック名誉院長
10	地区医師会	太田 雅也	(社)世田谷区医師会副会長 (R5.8~)
11	地区医師会	山口 潔	(社)玉川医師会理事
12	地区歯科医師会	村上 直弘	(公社)世田谷区歯科医師会担当理事 (R6.6~)
13	地区歯科医師会	粟屋 剛	(公社)玉川歯科医師会担当理事 (R6.7~)
14	地区薬剤師会	佐伯 孝英	(社)世田谷薬剤師会監事
15	地区薬剤師会	橋元 晶子	(社)玉川砧薬剤師会理事
16	区民	小池 宗和	世田谷区民生委員児童委員協議会副会長 (R4.12~)
17	区民	高橋 和夫	世田谷区町会総連合会副会長 (R5.7~)
18	区民	小塚 千枝子	世田谷区商店街連合会常任理事
19	家族会	高橋 聡子	在宅介護家族の会「フェロー会」代表
20	地域団体	中澤 まゆみ	認知症カフェ多職種ケアネットワーク 「せたカフェ」代表、福祉ジャーナリスト
21	地域団体	岡崎 克美	世田谷区社会福祉協議会副会長
22	介護保険事業者等	徳永 宣行	世田谷区介護サービスネットワーク代表
23	介護保険事業者等	相川 しのぶ	世田谷区ケアマネジャー連絡会会長
24	介護保険事業者等	浜山 亜希子	喜多見あんしんすこやかセンター
25	介護保険事業者等	遠矢 純一郎	世田谷区認知症在宅生活サポートセンター代表

世田谷区認知症施策評価委員会パートナー名簿（令和4年10月1日～令和6年9月30日）

	氏名	職（所属）等
1	小林 真理子	澤田佐紀子委員パートナー
2	蓮見 早苗	澤田佐紀子委員パートナー
3	貫田 弥生 友子	貫田直義委員パートナー

第2期世田谷区

認知症とともに生きる希望計画に基づく

令和6年度の取組みについて

第2期世田谷区認知症とともに生きる希望計画は
世田谷区ホームページからご覧いただけます

詳しくはこちらをクリック
(世田谷区ホームページ)



第2期計画（令和6～8年度）において目指す将来像

第2期計画より抜粋

条例の基本理念が広く浸透し、地区のアクションが全区で展開するとともに、認知症の本人が自らの思いを発信・社会参画しながら、地域とともに希望を持って暮らせるまち

第2期計画の成果指標

第2期計画より抜粋

第2期計画において、以下の3つの成果の目標を設定

		現状値 (令和5年度)	目標値 (令和8年度)
1	条例に掲げる新しい認知症のイメージを持っている人	38.2%	51.4%
2	認知症になっても希望を持って暮らせると思う人	24%	35.4%
3	本人が参画するアクションチームの結成地区数	14地区	全28地区

令和6年度の実施の方針

「第2期世田谷区認知症とともに生きる希望計画」の初年度として、認知症の本人や家族、医療・介護・福祉関係者、地域づくりの推進役等の多様な関係者と連携・協働のもと、様々な取り組みを着実に推進する。

令和6年度の取組みの全体像（主な取組み）



本人向け

- 認知症初期集中支援チーム事業
- もの忘れチェック相談会
- 医師による認知症専門相談事業
- 認知症本人交流会
- 認知症バリアフリーの推進
- 社会参加プログラム事業



家族向け

- 介護者向けのストレスケア講座
- 家族のための心理相談
- 家族会・介護者の会の開催及び運営支援
- 家族会交流会



区民向け (本人・家族含む)

- もの忘れ相談窓口 (あんしんすこやかセンター)
- アクション講座
(世田谷版認知症サポーター養成講座)
- アクションチームの活動支援
- セーフティネットの充実
- 各種講演会
- 認知症あんしんガイドブックの配布
- 区報・ホームページ・SNS等での周知



関係機関向け

- 医療機関との診断後支援の連携強化
- 日本版BPSDケアプログラム
- 専門職向け研修
(世田谷区福祉人材育成・研修センター)
- あんしんすこやかセンター職員研修
- インフォーマルサービス情報誌の発行

区と認知症在宅生活サポートセンターを中心に
様々な取組みを連動させながら、認知症施策を総合的に推進

第2期計画における行動量（令和6年度目標値）

第2期計画より抜粋

第2期計画において、以下の8つの行動の目標を設定

		現状値 (令和5年度)	目標値 (令和6年度)
1	アクション講座（世田谷版認知症サポーター養成講座）の受講人数（累計）	6,730人	9,910人 (+3180人)
2	教育分野（小中学校等）でのアクション講座の実施回数（年度実績）	17回	21回
3	本人交流会やアクション講座、会議等に本人が参画した回数（年度実績）	21回	増加
4	地域づくりの推進役の育成人数（累計） ※地域づくりの推進役＝アクション講座実施者・地域支援推進員	142人	170人
5	ケアマネジャー等専門職への研修	実施	充実
6	認知症サポート医等医療機関との連携した対応	検討	検討・実施
7	介護予防講座の受講人数（年度実績） ※介護予防筋力アップ教室、まるごと介護予防講座等	484人	増加
8	認知症バリアフリーについて検討する機会	検討	検討

取組みの推進にあたっての重点的な検討項目①

検討テーマ

認知症 月間イベント

検討内容等

- 9月21日（土）に保健医療福祉総合プラザで開催予定の「希望条例施行4周年・令和6年度認知症イベント」の内容について
- ※今年度は「認知症を知る・触れる・感じる」をテーマに、講演やアクション講座、本人交流会メンバーの企画によるハワイアン喫茶等の開催を予定。

検討テーマ

アクション チーム

検討内容等

- アクションチームの全地区結成に向けて、あんしんすこやかセンター等への必要な支援等について
- アクションチームの結成や活性化に向けた交流会の内容等について

検討テーマ

情報収集・発信 の強化

検討内容等

- 区のおしらせ8月25日号（地域版・1面のみ）の掲載内容について
- 認知症在宅生活サポートセンターのHPの充実策について
【HP充実のねらい】
 - ・ 区民や関係者等に認知症の基礎知識や地域活動を知ってもらう。
 - ・ インフォーマルサービスを活用した専門職による相談支援の充実。
 - ・ 各地区のアクションを情報共有することで区全体のアクションを活性化する。

取組みの推進にあたっての重点的な検討項目②

検討テーマ

私の 希望ファイル

検討内容等

- 本人が希望を表出するための環境とツールについて
- 本人の希望を叶えていく仕組みについて
- ケアマネジャー等への普及方法について

検討テーマ

医療・介護・ あんしんすこやか センターの連携強化

検討内容等

- 認知症あんしんガイドブックの活用について
- 医療機関からあんしんすこやかセンターやケアマネジャーに繋がる仕組みの強化について

令和6年3月リニューアル

世田谷区認知症 あんしんガイドブック

認知症について知りたい方や
認知症と診断された方、
ご家族などに向けた3冊構成の冊子

詳しくはこちらをクリック
(認知症在宅生活サポート
センターホームページ)



本冊
認知症に関する
様々な情報を掲載



別冊
本人の声や仲間づくりに
関する情報を掲載



資料編
相談先やサービスの
情報をまとめて掲載

推進体制

- 区と認知症在宅生活サポートセンターを共同事務局として、各取組みを推進する。
- 5つの重点的な検討項目は、1期計画での「プロジェクト推進チーム」体制から変更し、区と認知症在宅生活サポートセンターを事務局とした「**テーマ別ミーティング**」を必要に応じて開催し、多様な関係者との連携・協働により検討し、取組みを推進する。

第2期計画の進捗管理・評価・改善

進捗管理・評価

- 2期計画の**成果指標と行動量**や**重点的な検討項目**に関する**取組み**の進捗状況を管理するとともに、目指す成果に対する取組みの有効性を評価する。
- 進捗状況や評価の内容は、認知症施策評価委員会に報告する。

改善

評価及び認知症施策評価委員会での議論等を踏まえ、明らかになった課題を解決するための対策を検討し、取組みを改善する。

各委員による事例紹介及び意見交換について

1. 主旨

認知症施策評価委員会委員やパートナーにより、それぞれの立場から認知症に関する事例を紹介してもらい、その事例をもとに、委員間で意見交換を行うことで、認知症に関する経験や課題の共有を図り、今後の認知症施策に活かすことを目的に実施する。

2. 事例紹介者

1	貫田 直義 委員、貫田 友子 パートナー
2	小林 真理子 パートナー
3	山口 潔 委員
4	相川 しのぶ 委員